

≫ 令和8年度博物館企画展 史料学協創センター開設記念

「時を超えて過去から未来へ —東京大学史料編纂所と、琉球の記録・絵図—」 開催のお知らせ

沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）では、8月7日（金）から、
令和8年度博物館企画展 史料学協創センター開設記念「時を超えて過去から未来へ—東京大学史料編纂所と、琉球の記録・絵図—」を開催します。

今回の展示では、琉球の記録・絵図を読み解くとともに史料編纂所や沖縄県立博物館・美術館が実施している資料研究の動向についても紹介します。沖縄県では初公開となる史料もございますので、お見逃しなくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

また展覧会の開催にあたり、8月7日（金）10時より開会式を実施いたします。ぜひ開幕取材にご協力くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

【開会式概要】

日時：令和8年8月7日（金） 10：00～10：25 （9：30受付）

場所：沖縄県立博物館・美術館 企画展示室前（3階ホワイエ）

1.主催者挨拶

又吉 信（沖縄県文化観光スポーツ部長）

尾上 陽介氏（東京大学史料編纂所長）

2.来賓挨拶

豊見山 和行氏（琉球沖縄歴史学会長）

3.テープカット

尾上 陽介氏（東京大学史料編纂所長）

末柄 豊氏（東京大学史料編纂所副所長および史料学協創センター長）

豊見山 和行氏（琉球沖縄歴史学会長）

又吉 信（沖縄県文化観光スポーツ部長）

園原 謙（沖縄県立博物館・美術館長）

—予定—

展示解説会：10：25～11：30（当館担当学芸員及び史料編纂所担当者）



豊臣秀吉画像

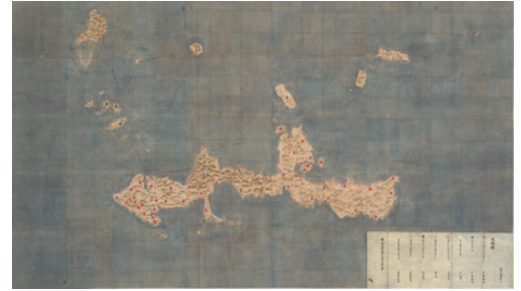
史料編纂所が収集した史料の中から、日本史上、著名な人物に関わる史料を取り上げ、前近代の日本史の一断面について紹介します。



首里城図

(「首里城並諸方絵図間付差図帳」)

これまでの展覧会では展示されたことのない琉球・沖縄にゆかりのある史料を紹介するとともに、史料編纂所が行ってきた史料調査の履歴を展示します。

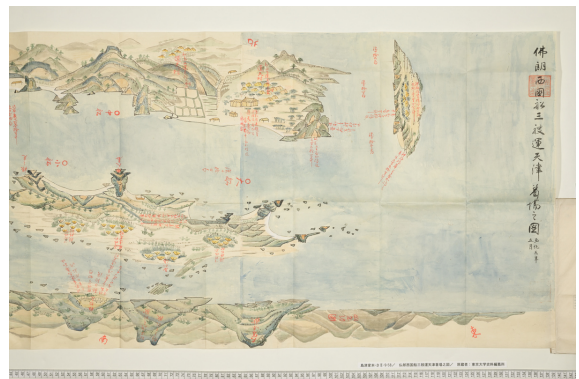


正保琉球国悪鬼納島絵図写

当館と史料編纂所は、ともに史資料の収集、調査研究を行っています。資料のデジタルアーカイブなど、その取り組みの一部を紹介します。

一展示のみどころ一

- ・織田信長、豊臣秀吉など、日本史の重要人物の史料を沖縄初公開
- ・琉球に「出島、？」 琉球史が変わっていたかもしれない貴重な絵図資料
- ・東京大学に眠っていた琉球の至宝たちがついに故郷（ふるさと）へ



仙朗西国船三艘運天津著場之図

※ 広報用画像をご希望の方は s-ishida@okicul-pr.jp (石田) へご連絡下さい。

【展覧会概要】

展覧会名：令和8年度博物館企画展 史料学協創センター開設記念

「時を超えて過去から未来へー東京大学史料編纂所と、琉球の記録・絵図ー」

会期：2026年8月7日〔金〕～9月23日〔水・祝〕

主催：沖縄県立博物館・美術館、東京大学史料編纂所

場所：沖縄県立博物館・美術館 3階 博物館企画展示室

開館時間：9：00～18：00（金・土は20：00まで）※ 最終入場は閉館の30分前まで

休館日：毎週月曜日 ※9月21日（月）は開館

【お問合せ先】

沖縄県立博物館・美術館 指定管理者（公財）沖縄県文化芸術振興会
広報担当（石田・比澤）【TEL】098-941-8200【FAX】098-941-2392